

神奈川県建築士会横浜支部 よこはま支部だより

40

いよいよ40号です

発行日

平成18年5月29日

(社) 神奈川県建築士会
横浜支部事務局 担当: 大平
〒231-0003
北仲通り4丁目45
(建築士会館)
Tel (045) 201-1284
Fax (045) 201-0784

神奈川県建築士会横浜支部 平成18年度通常総会のお知らせ 支部長 南 利幸

下記により平成18年度通常総会を開催いたしますのでご通知申し上げます。
ご多忙かと存じますが、時間お繰り合わせの上、どうぞ御出席下さいませよう、
宜しく願いいたします。

記

日 時 : 平成18年6月24日(土)
14:00 開催 (13:30 より受付開始)

場 所 : 横浜情報文化センター
(横浜市中区日本大通11番地、 045-664-3737)

次 第

総 会 : 14:00 ~ 14:40 (7階大会議室にて)
< 議 事 >

平成17年度活動報告
平成17年度収支決算報告
平成18年度活動計画案
平成18年度収支予算案
役員改選

講演会 : 14:50 ~ 16:50 (6階情文ホールにて)
講 師 : 高橋 裕 氏
(東京大学名誉教授・国際連合大学上席学術顧問)

テーマ : 『民衆のために生きた土木技術者たち』

懇親会 : 17:00 ~ 18:30 (2階「カフェ・デ・ラ・プレス」にて)
会 費 2,000円 (当日会場にて徴収いたします)

タイトル	頁
平成18年度 通常総会のお知らせ	1
他支部訪問 横須賀支部 スキー・スノボの会	2
部会訪問 建築環境部会第4・5回	3
第8回ハイキング紀行	4
三浦アルプス 森戸川林道	5
テニス同好会 100回達成!記念	6
千利休のこだわり	7
第20回	8
ワイン同好会たより	9
テニス同好会たより	10
	11
お知らせ・編集後記	12



nippon-maru

スキー・スノボの会 横須賀支部訪問

今年で 35 回目の横須賀支部主催・本会厚生委員会共催のスキー・スノボの会が志賀高原にて開かれた。今回の参加者は総勢 21 名で、横須賀方面から 9 名、横浜から 8 名、平塚方面から 4 名であった。今年新たに横浜から 2 名が加わった。

このスキーの会の秀でる事は、会の発足より既に 30 年を越えている事もさることながら、参加者の平均年齢が高い割りに、そのほとんどの方々のスキーの腕前が上級クラスで、しかも指導員クラスもいることである。



3月2日の夜、バスで横須賀を出発して横浜経由となり、車中の楽しさを味わいながらの夜行となる。次の日早朝の現地到着となるが、朝食の後直ちに宿のあるゲレンデ「サンバレースキー場」から一番遠い奥志賀高原まで、リフトを乗り継ぎツアー的に行動を開始する。今回は2組に分かれ時間差を設けての楽しみかたであった。お昼は、目的地の奥志賀高原・プリンスホテルのレストランとなる。昼食の後、全員で宿のあるサンバレーまでの滑りとなる。かなりの距離を味わえ、十分な滑り応えである。途中スキーの道具の到着が遅れたF氏が合流した。



初心者进行を教える者、コブに挑む者、いろいろと

2日目はゲレンデ前よりバスに乗り、横手山へ向かう。ここでは標高 2,200m の頂上まで一気にリフトで乗り継ぎ、渋峠にて上質の雪のスキー板を通しての感触を楽しむのである。またここでは、日本一高いところにある手作りパン屋さんがある。皆ほとんどの方が寄って行く。パンと西洋料理が美味しい。さらにこの頂上からは南には噴煙を上げる浅間山があり、西には中央・北アルプスが遠望でき、北には戸隠・飯綱・黒姫・妙高と新潟へと連なる山々が一望できる。なんともいえない清浄さの天上に居る気分となりうるところである。宿に帰ってからは夕食の後、カラオケルームを借り切ったの歌い放題となる。

3日目は、午前中一滑りを楽しみ土産を買って帰途に着いたのであった。



アルプスの絶景

第4回「障害者・高齢者の身体機能特性と環境整備」

第4回研修会は標題の通りに中山福祉機器支援センターにて2月4日に開催された。参加者は30名であった。この研修会は部会全体で年5回のうち2回分を横浜市総合リハビリテーションセンターより理学療法士の方を講師をお願いしての事であるが、16年度からのシリーズで連続している内容でもある。過去2回藤井智氏が担当してくれており、今回も同様である。

講義は講義の時間すべてが、講師の藤井氏の熱心さで包含されてしまうのではないかと思える。我々にとってこの医療上からの観点の講義はまことに勉学の石杖となろう。内容は項目のみに留めるが、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症、パーキンソン症、間接リウマチ等の症状の説明に重点を置いてくれている。

この会は福祉部会以外の一般会員の参加者が多いのも特徴である。(大西)

第5回「ケアマネージャーの役割と住宅改修の関わり方」

平成2年に神奈川県福祉プラザで、障害者・高齢者の為の住宅改修相談が設けられました。

その相談はSW・PTorOT・建築と住宅改修に関わる専門家が連携を持つ相談体制が全国に先駆けてとられました。地域の社協等へ広げていった同体制の現地相談。先人の方の先見と努力に敬意を表する思いです。

福祉部会はその姿勢を守り、相談員の育成と向上を目的に研修会を開催してきました。

平成12年には介護保険が施行され、現地での相談のニーズがケアマネージャーからも上がってくるようになりました。そこで今回はその役割と住宅改修の関わり方を知り、理解して、相談の現場でケアマネさんとの会話がスムーズに行われるように、民間で介護保険事業を立ち上げ、介護福祉士・介護支援専門員(ケアマネージャー)として活躍している方を講師にお招きしました。

相談者とその家族の暮らし方から相談に入っていく様子を、苦労話を交えてのお話しは興味深く、また、

- 望んでいる事を知る
- 身体状況の変化を知る
- 住環境を整える

を目標にたてて、日々、活動していらっしゃる姿勢に同感いたしました。(大川)

第8回ハイキング紀行 三浦アルプス 森戸川林道

by 大西 正行



今回は前回の『三浦アルプス』の一帯の中にある「谷」に目を向け、森戸川の源流がある『森戸川林道』を紹介しよう。

コースは前回とは逆に京急田浦駅より国道16号を横須賀方面に歩き、15分ほどのところでトンネルを抜けて、横須賀線のガードをくぐり生花店の所を右に折れ、「田浦梅の里」へ向かう。



10分ほどで京急のガードをくぐると左手の山が「田浦梅の里」である。この里を突き抜けて展望台の下を通り過ぎ横横道路を渡りハイキングコースへと入っていく。さらに10分ほどで、いきなり急な坂となり、上り下りの補助的なロープが50メートルくらい施されているところを過ぎるとすぐに、3差路となり左へ行くと前回の仙元山方面となるが、ここを右の二子山方面に行く。

すぐに、右脇への分かれ道がある。右へ登ると東京湾を展望できる。足元の崖際は樹木の根っ子ごと10メートルほど崩れている。そのまま突き進み15分ほどのところで、また3差路となるが、直進するとどうやら東電の鉄塔管理用の道らしく、道標どおりに右へ下っていくとほぼ平らになったあたりに5分ほどで次の道標のあるところへ着く。



直進は二子山方面であるが、左の鬱蒼とした谷に向かう。標識には付け加えたように「森戸川」方面と書いてあるが、良く見ないとコースがわかりにくい。しかし少しだけ進んだ所で立ち止まり、足元を良く見ると踏み分けられた道・コースであると確信にいたる。ここからは川くだりとも言える。

すぐに森戸川源流と思える所にぶつかる。また、10分もすると分かれ道に出、標識が無いが、川が下っている方へに行く。また10分ほどで3差路となるが、右は「馬頭観音」であり、直進して二子山方面へ向かう。すると、すぐに左に折れる道もあるが、ここも直進する。

ここからが川を横断すること10数回、川の中そのものがコースとなっている所も約10箇所ある。初めてここを歩く人にとっては、今歩いている所が本当にコースに合っているかと不安に駆られる場合もあるだろう。



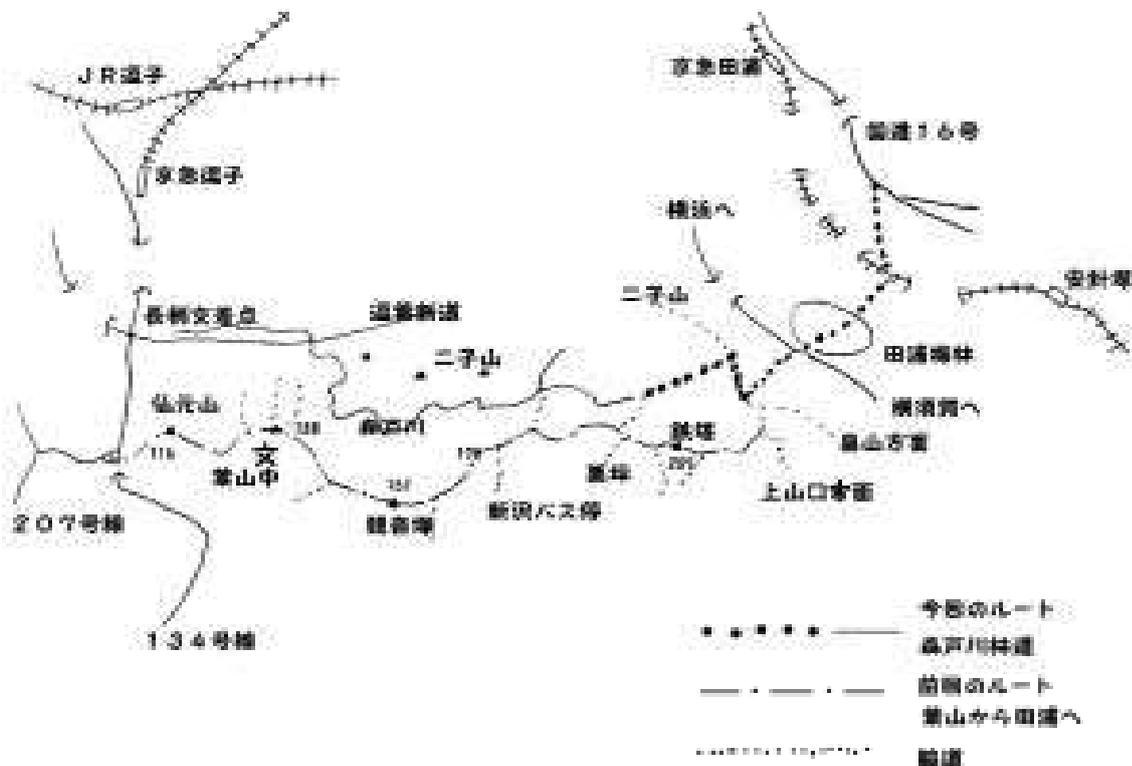
しかし、川の中を多少濡れながらも、岩が流れから頭を出している先を渡り歩いていくと、その川の中から出るコースの取り付き部分に突き当たる。場所によっては見通しが訊かない所もある。大体は川に下りてから次に上がる場所はあの辺りであろうと見当がつく。一応ほとんどのところで目印のテープが有ったりする。

蛇行する川の中を、不安感を持ちながらも木々を見上げたり流れの清らかさを眺めたりして楽しんでいると、「梅の里」より2時間ぐらいで、川沿いの逗子方面からの林道終点に取り付く。



ここからは林道を歩き、逗葉新道の川久保交差点まで40分ほどのんびりと歩く。途中2年前の台風で倒れた樹木、崩れた崖をまざまざと見ることになる。川久保交差点からは左に行くと、10分ほどで長柄の交差点となり、ここからは京急・JR 逗子駅までバスもある。

今回は、比較的気軽に川の中を歩くという普段経験しないことを味わえるコースである。尚、私が川の中を歩いた時の、その流れの深さは、ほんの2~3cmであった。しかし靴は多少濡れても良く、滑らないものを選ぼう。



テニス同好会 100回達成！

記念事業（記念テニス大会、記念式典）開催

2月18日（土）横浜磯子プリンスホテルに於いて100回記念テニス大会と記念式典が開かれました。

同式典は士会本会より、藤本会長・藤田副会長、横浜支部の南支部長を来賓に迎え広報委員会より数名を加えて計28名の参加。式典途中PM2時から開催されたテニス大会の結果発表がある等会話がはずみ、会場の配慮もあり予定の時間をかなりオーバーしてから解散、盛況なパーティーとなりました。会場担当の鯉江さんお疲れさまでした。

同同好会は横浜支部発足後2年目になってから定期的な練習をするようになりました。普段のプレーは内山同好会会長始めベテラン会員による指導を仰ぎながらの練習を重ね、コートの確保は渡辺厚生委員長の協力を得ている。また年3回の合宿では会員個人の協力の下で山中湖・伊豆・逗子で開催され毎回10～20人程の参加者があり、現在総勢30人の会員数になっている。

また毎月の恒例の練習の成果を磯子区区民大会で発揮し団体戦でコンソレーションでは3位という成績を残した。

毎月の練習は1月たりとも欠かすことなく、継続しての活動は実に意義深いものとなっている。このことは、横浜支部会員相互の親睦に大いに役立っている。これも内山会長、玉野幹事他の役員の方々の努力を第一に挙げるところであるが、同好会会員同士の絆の強さに加え、また若さ溢れる意欲が汲み取れるものである。

また、一般の会員からの参加申込が今でも続いているのも士会会員の潜在的な需要があり、同好会が活発に継続して活動を続けているからこそである。



記念式典（横浜プリンスホテル：マルモラーダ）

100回記念テニス大会（ダブルス）

時間： PM2:00～4:00

場所：プリンスホテルテニスコート（ハード）

参加者：8組（16名）

優勝・・・廿日出、鯉江
コンソレ優勝・・・小林、奥津



テニスコートにて

HISTORY

平成6年建築士会に横浜支部が発足し同年の12月頃「サークル活動についてのアンケート調査」を行い、その結果から平成7年度にテニス、ゴルフ、絵画の3同好会が発足される。

第1回テニス発足会・・・平成7年7月28日（金）建築士会会議室にて3名の参加。名簿上発足当時13名

初 同好会開催・・・平成7年11月3日、「ウインズテニスクラブ」（緑園）にて10名参加

2回目同好会開催・・・平成8年7月19日市営「日の出川公園コート」（大通り公園）練習&懇親会 8名参加

同好会活動の方針決定・・・平成8年9月28日市営「小雀公園テニスコート」練習&懇親会（栄区） 6名参加

会員を幅広く募集しようと思い建築士の封筒に他支部の参加も呼びかけたところ、当時大和市から菊池さん（後のコーチとなる）が参加、レベルの低さを指摘され、定期的にスクール形式にした方がよいという意見が出ました。

第1回テニススクール開校・・・平成8年11月24日（日）PM5:00～7:00、金沢産業振興センターAコート 13名

小さくて、大きなブラックホール

建築家？千利休 のこだわり

by 田川尚吾

茶道で使われる茶碗が、飲む分量に比べてずいぶん大きいと思ったことはありませんか？

千利休という人は、この上なくシンプルな物事を好んだそうで、桃山時代の当時、すでに口くろは普及していましたが、彼は徹底して「手練り」にこだわりました。

おにぎりやお寿司の形が、人の手とその動きで決まるように、土を両手で練りあげて茶碗をつくると、親指の長さが内側の深さとなり、残りの指が外輪を形作る、あの大きさが自然に生まれます。



元祖、茶道の茶碗

瓦職人の長次郎という人に焼かせた茶碗は、その後「樂焼」という名で現在まで受け継がれますが、当時、利休が特にこだわったのは、茶碗の内底の丸み具合でした。

鮮やかな緑の抹茶を飲み干す瞬間に、両眼は茶碗の内底を見ることになりますが、利休はその時、茶碗の奥に黒い世界の広がりを出ようと考えました。そこで長次郎には、徹底して内底の入隅を丸めて線を見えなくし、奥行き感を消失させることを要求しています。



樂焼 大黒（国宝）

これと同じ手法を、利休は床の間でも行っています。侍庵という茶室では、壁を黒く塗り、入隅線を丸く面取って、床の間の奥に黒い世界を広げようと試みしました。

桃山時代の華やかさに逆らった罪で、利休は秀吉により切腹させられますが、明るい場所が好まれる現代に、利休が唱えた抽象的な黒い空間は、とても新鮮な感じを漂わせています。



茶室 侍庵（国宝）

第 20 回ワイン同好会を開催して

ワイン同好会幹事 長井 邦夫

平成 10 年 11 月に第 1 回目を開催して以来、20 回目の同好会は 4 月 6 日（木）山手十番館（別館）で開催することが出来ました。

桜に照準を合わせたつもりでしたが、すでに満開は通り過ぎ拍子抜けはしたものの、好奇心はやはり 20 本のワインとテーブルに並べられた料理でした。参加者 26 名を募り、節目に相応しい、賑々しく盛り上がった会となりました。

ワインについては丸山さんが詳細に報告しますので省きますが、桜に合わせた“ロゼのスパークリング”の乾杯に始まり、6 種類のボルドー産格付級を揃えました。ここに至るまでは予算との兼ね合いを念頭に入れ二ヶ月前からパズルのように頭を捻っていましたが、心地良い苦労の日々でした。今回は幸運にもマルゴー産 4 種類が割安で手に入れることが出来、予算超過もなく治められたのは収穫でした。

最近、中国の経済成長により、今後フランスワインの需要が増大しつつあるのは不安材料です。ソムリエの山本さんの解説はさすがに適格であり、判りやすく、ワインの奥の深さを改めて認識させられました。

時間の過ぎるのは早く、予定の 21 時を少し廻ったところで名残り惜しい閉会となりました。満足された様子を感じとり、幹事としても達成感に浸りました。山手十番館のサービスにも満足しました。

次回は秋を予定しています。



第20回 ワイン同好会

by 丸山 幸一

第20回のワイン同好会が、4月6日(木)山手十番館別館にて開催されました。参加者は20数名。幹事の長井さんの話によれば、初回は平成10年との事、8年が経過している訳です。会の存続はこれまでほとんど長井さんのご尽力によるもの、恐らくこれからも長井さんのご尽力に頼らざるを得ないと思います。参加者としてこの場を借りて深く感謝申し上げます。

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1) クレマン・ドゥ・ブルゴーニュ | (ロゼ) スパークリングワイン |
| 2) CH・シャトーデュルフォード・ヴィヴァンス '03 | (赤) マルゴー産(格付2級) |
| 3) CH・ローザン・ガシー '97 | (赤) マルゴー産(格付2級) |
| 4) CH・ジスクール '02 | (赤) マルゴー産(格付3級) |
| 5) CH・デュ・テルトル '97 | (赤) マルゴー産(格付5級) |
| 6) CH・ラグランジュ '98 | (赤) サン・ジュリアン産(格付3級) |
| 篤志寄贈品 CH・レオヴィルポアフェレ '87 | (赤) サン・ジュリアン産(格付2級) |

1)の乾杯の意味を含めたさわやかで飲みやすいスパークリングワインから始まり、2)~5)はマルゴー産のワインでまとめられ、6)はサン・ジュリアン産となっており、これを集めるだけでもター朝とは行かない代物で、長井さんの第20回の節目に対する思い入れが感じられます。

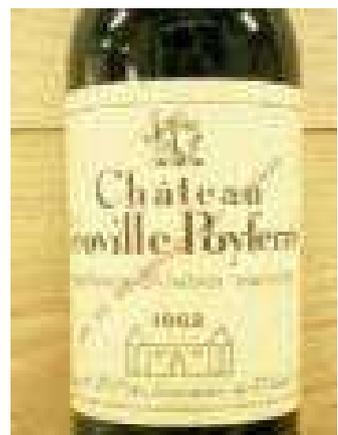
この稿を書くに当り、少しは勉強して長井さんの気持ちに報いなければと思ひ、補足程度になると思いますが、いろいろ調べて見ました。

今回のテーマはボルドー、それもメドック地方に限定されていると思われる。メドックは大西洋とジロンド川に挟まれた地域で、ラテン語では「水の真中」と言う意味だそうです。メドックのアペラシオン*(AOC)は、メドック、オー・メドック、マルゴー、ムーリー、リストラック・メドック、サン・ジュリアン、ポイヤック、サン・テステフとなっております。その中でマルゴーはメドックの南に位置し、ジロンド川の上流のガロンヌ川に面しています。ワインはタンニンがやわらかで女性的であると言われていますが、北に行くほどタンニンが増えて、サン・ジュリアンはマルゴーのやや北に位置し、力強く男性的になっていくそうです。

でも一方では、この様な「女性的、男性的」等の表現は無意味でどの村にもあらゆるタイプのワインがあり、違いが有るのはそのブレンドの比率だけだという人もいます。畑の土壌も場所により近くであってもかなり違って来る様で、実際今回のマルゴー産でも画一的なもの無く、みな個性がありそれぞれに主張があるように思いました。メドックでは北の川下と南の川上では、かなり地理文化、生産者の層、性格も違いが有り、ワインも当然の如く違いが出てきます。1855年の格付以外にも「クリュ・ブルジョワ」という格付が有る様ですし、ワイン作りの職人たちの心を思いながらワインを味わうのもいいかなと思うようになりました。ワインは奥が深いですね。次回が楽しみです。



メドック地方



CH・レオヴィルポアフェレ
篤志寄贈品

*アペラシオン (Appellation) : 良質のワインを産する、伝統的なワイン産地に与えられた名称。

テニス同好会だより



定例会報告

・平成18年4月8日(土)

練習 PM5:00~7:00

金沢産業振興センターA・Bコート参加9名

100回記念後3月は雨天のためテニスはお休みし、ミーティングだけにしましたので、101回目になります。

今年に入って初めての同好会練習、あいにく今回は参加者が少なく休む間もなくプレーの連続。

今年は桜が早く咲いたためコート近くの花は満開を過ぎてそれでもまだ少し残っていました。

今回はうれしいニュースがあり！同好会が継続的に開催されるきっかけを創ってくれました菊池コーチが久しぶりに顔を出してくれました。あまり上達していない幹事を見てちょっとガッカリかも・・・。



なごり桜の下、菊池コーチと共に



2次会の様子

テニス大会報告

・平成18年5月20日(土)場所:磯子区岡村コート

今回で3回目になります公式戦のテニス大会団体戦に出場!

昨年同様A・B2チーム団体名はK Y T (Kentikusikai・Yokohamasibu・Tenisudoukoukai)

天候が危ぶまれましたが、見事に予報を外しテニス日和となりました。試合の間は日焼け、日射病を気にするほどの夏日！我がチームの最後の試合が終わって帰りにかなりの雨が降ってきました。

つくづく「我が同好会は日頃の行いがいい人が集まっているなー」と実感しました。

BチームAM9:00スタート、Aチーム12:20スタート。

結果は・・・皆さん頑張ったのですが残念ながら進めず、次回の課題を残しての解散。

今後の練習はきっともっと熱が入ることでしょう。



A・B混合



Aチーム



Bチーム

同好会員募集中！

テニスに関心のある方どなたでも参加可能です。詳しくはホームページをご覧ください

連絡先：玉野 045-894-8452 FAX893-6614



山中湖のテニス合宿

5月5(金)6日(土) 場所:山中湖(三盛荘)参加者合計14名
テニス同好会恒例の春の合宿が5月5・6日に山中湖で行われました。
めずらしく女性の参加が多くて、終始、賑やかで華やかな雰囲気でした。
いつもの年より1週間早い開催だったせいか、山桜が満開で美しく
又、雪化粧の富士山はその見事な姿をずっと見せてくれていました。
このような素晴らしい自然の中で、テニスを充分に楽しんで来ました。



「山中湖初参加」

奥津 治夫



風薫る5月のゴールデンウィーク後半、5日6日と山中湖合宿に参加させて頂きました。
連休中とあって高速道路の渋滞を見込み、早く自宅を出発しましたが、さほど混雑なく
待合せ場所の『なかいP』に到着。ちょっと拍子抜け・・・。時間どうり皆さんに合流し、
車4台ツルンデ『山中湖』へ！途中三国峠を多少下った場所で小休止。天気にも恵まれ、
真正面に雄大な富士山を拝見でき、気分上々。こんなところにMt.富士のビューポイント
があるとは知りませんでした。

数分車で下り『三盛荘』に到着。辺りは学生(中高生?)でいっぱい。ちょうど軟式テニスの大会が開かれて
いた様子。毎回利用しているコートが午前中使用しているとのことで、民宿のお兄さんにバスで、山中のコート
へと送迎していただく。是がまた別荘地にも来た様なところで、松林、山桜が咲き、鳥の囀りが聞こえる中、
爽快な環境でプレイができました。午後になると、別のコートへ移動。斉藤さんグループと合流。総勢14名『竹
中さんメニュー』にて練習開始。今回の合宿の目的は、来たる5月20日から始まる『磯子区民大会・団体戦』
に2チームエントリーするため、それに向けての特訓合宿とのこと。日頃、よくても3時間ほどしか練習をしない
自分が、初日から4~5時間フル活動で頑張っていました。

夕方、明日の体調を心配しつつ、テクテクと各関節の痛さを感じながら民宿に向いました。『三盛荘』は当日、
我ら同好会の貸切状態、付近も日中の賑わいがウソの様。疲れた体をお風呂で癒され、食事モアルコールモ空腹
を十二分に満たす量でした。部屋に帰り、2次会が夜中までワイワイ・ガヤガヤ続けました。印象に残っている
のは、愛称『斉藤パパ』と『成田氏』のテニス論議?!翌日の『巖流島の戦い』で決着の気配。どちらが『小次
郎』『武蔵』か楽しみにしていたのですが・・・対戦はお預けでしたよね!

翌日は朝練をせず、9時から混合ダブルス試合トーナメント。優勝は『竹中さん』『斉藤パパ』チーム・・・混
合ダブルス?

自分だけでなく、湿布薬、テーピング等をしてまでも、やはり皆テニスが好きなのがわかりました。

次回の5月13日の練習会には、都合により参加できませんが、区民大会のメンバーに入れて頂きましたので
足を引っ張らない様、自己練習をしておきます。

同好会に入会して約1年、今回で3回目の合宿参加でしたが、いつも仲間に加えて頂き感謝しております。

入会のきっかけは、配送物の『支部だより』。コートでの集合写真をたびたび拝見していました。知人もいま
せんでしたが、テニス仲間が欲しく、連絡をとった次第です。

**私の他にも『支部だより』をみて、同じ思いをしている人がいると思います。参加すれば
メンバーの雰囲気の良さがわかるはずです。**

まずは、練習会参加希望の連絡をしてみたいかがですか!

おしらせ

平成 18 年度関東甲信越建築士会ブロック会青年協議会 山梨大会 in 富士河口湖

「ふれあい、かたらい、新たなあゆみ」
～富士のくに 建築コンベンション 2006～
開催日：平成 18 年 6 月 16（金）、17 日（土）
会場：富士レークホテル（河口湖畔）

今年度の関東甲信越建築士会ブロック大会は、上記の日程で、山梨県にて開催されます。この大会は、各都道府県の建築士会青年委員会が幹事となり、開催する建築士の種別報告・交流会です

平成 19 年の「関東甲信越建築士会ブロック会」開催地は、 神奈川大会です！

現在、青年・女性委員会を中心に各支部のご協力のもと準備を始めました

山梨大会を盛り上げ、神奈川大会につなげましょう！！

つきましては、各支部より 5 名以上参加していただき、と思っております

社団法人 神奈川県建築士会
青年委員会 委員長 永井 香織
女性委員会 委員長 雨森 隆子
問合先 神奈川県建築士会事務局
(TEL 045-201-1284 担当 大平まで)

横浜支支部ホームページ

<http://www.kanagawa-kentikusikai.com/sibu/yokohama/>

ご覧頂けておりますか

ブログ ID yokohama-sibu

パスワード tamachan

皆様の投稿をお待ちしております！！

大棧橋に立ち寄った客船から



Asuka



Sapphire Princess2



Topaz

編集後記 5 月に開園 100 周年をむかえる三溪園の桜



小糠雨降る三溪園を訪れました。一年の活動を振り返り、久しぶりにゆったりとしたひとときを過ごせました。三溪園は今年の 5 月で開園 100 周年をむかえるそうです。5 月 1 日からいろいろな催しものが企画されているようですので、どなたかとユックリ散策でも。

支部便りに広告を載せられますので、どうぞ積極的活用をお考え下さい。

- 発行部数 約 1,500 部 発行時期 年 3 回 (6、10、12 月の予定)
- 広告内容、方法: 貴社のイベント情報などを A4 版 1 枚 (表裏利用可能) にて同封してください。
- 2 枚以上の場合は、送料との関係がありますので事前に相談してください
- 広告料: (1 回の発行に付き以下の金額となります)
横浜支部賛助会員: ¥30,000 (税込み) その他企業: ¥50,000 (税込み)
- その他: 同封させていただく広告を期日までにお持ちください
- 掲載に関するお問い合わせ: 広報委員会 大貫

(連絡先 石田建築事務所 TEL/045-641-7052 FAX/045-641-7053)

連絡先: 事務局もしくは ohnuki@dream.big.or.jp 広報委員会 大貫まで

投稿情報求む！

趣味興味のあるもの、掲載したいと思う記事の原稿を発行一ヶ月前までに送っていただければ掲載出来ますので、左記までご連絡ください